

2024 年 6 月 3 日

通貨ニュース

南アフリカ: 与党 ANC の議席過半数割れ が確定

連立交渉が焦点に

南アフリカで 5 月 29 日に行われた総選挙は、6 月 2 日に最終結果が発表され、与党・アフリカ民族会議(ANC、中道左派)の得票率は 40.2%に留まり、議席数は下院 400 議席中の 159 議席と過半数を割り込んだ(図表 1、2)。2019 年の総選挙での得票率の 57.5%と比較して大幅な低下となった。

これまで南アフリカでは、1994 年のアパルトヘイト廃止・民主化選挙以降、アフリカ民族会議(ANC、中道左派)が政権を独占的に握り続けてきた。しかし、汚職スキャンダル、頻発する停電、失業率の急上昇、暴力犯罪の増加など、数々の問題が有権者を失望させ、ANC は 2004 年の総選挙をピークに議席数を減らし続けてきた。2018 年には汚職問題でジェイコブ・ズマ大統領(当時)が辞任し、故ネルソン・マンデラ氏が自らの後継者に嘱望したとされるシリル・ラマポーザ氏が大統領を務めているが、汚職の撲滅や経済の発展で目立った成果を出せていない。こうした状況下、ANC の議席過半数割れという同国の中道左派の政治史上、重大な局面変化が訪れた格好だ。

今後は ANC がどの党と連立を組むかが焦点となる。ビジネス寄りの中道政党である民主同盟(DA)との連立となれば、構造改革の進展が期待されるためマーケットにとってベストシナリオと見られる一方で、急進左派の経済的解放の闘士(EFF)や、汚職問題や政治的対立で ANC から除名処分を受けたズマ元大統領が設立した国民の槍(MK)との連立となれば、市場は拒否反応を示す恐れがある。両党が主張する政策には、白人所有の農地を無償で政府が收用し、黒人小作農に分配する「土地収用」が含まれる。実際に導入された場合、金融市場は、同様の政策を 2000 年に行ったジンバブエのケースを想起すると見られる。ジンバブエは、土地改革実施後、食糧難、ハイパーインフレ、通貨の暴落、資本逃避等を招いた。マーケットの反応も、DA との連立ならポジティブ(ZAR 高)、EFF、MK との連立ならネガティブ(ZAR 安)となる公算が大きい。

ANC は、選挙結果確定から 14 日目となる 6 月 16 日までに連立を組む必要があり、ANC がどことも連立を組むことができず少數与党となる可能性や、9 月にも再選挙実施が発表される可能性まで、様々なシナリオが取りざたされている。

ZAR は 5 月 29 日の総選挙の投開票以降、5 月末まで対ドル 18.3 近辺から 18.8 まで約▲2.7%下落している。最終結果は、世論調査結果とそれほど変わりがないようにも思われるが、「ANC は過半数をそれほど大きく割り込みず、比較的無害な小政党と組んで問題なく連立政権を樹立できる」という見方が選挙前にはあった模様であり、こうした期待が後退したことが背景にあるだろう。当面は、連立交渉を取り巻く不透明感が、引き続き ZAR の不安定化要因となる公算が大きい。

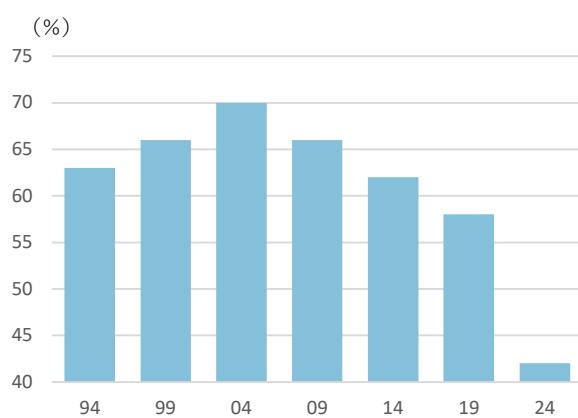
欧洲資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 將行

masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

図表 1: 与党 ANC の得票率



出所: 南アフリカ選挙管理委員会、みずほ銀行

図表 2: 2024 年下院議会選挙 投票結果

	得票率 (%)	議席数 (全400議席)
ANC	40.2	159
DA	21.8	87
MK	14.6	58
EFF	9.5	39
IFP	3.9	17
PA	2.1	9
VF Plus	1.4	6
ActionSA	1.2	6

出所: 南アフリカ選挙管理委員会、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。